

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会議の名称	令和3年度第1回図書館協議会		
開催日時	令和3年7月2日（金） 午後6時30分～8時50分		
開催場所	茅野市図書館 閲覧室		
出席者	矢崎智義委員長、岩崎和子副委員長、三代沢正委員、両角薫委員、細川美歩子委員、平澤洋子委員、百瀬るみ委員、牛山まきみ委員 山田教育長、田中生涯学習課長、五味図書館長、両角図書館係長		
欠席者	田村満理委員、原猛委員、小口かおり委員、戸田茂生委員 北沢生涯学習部長		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
教育長	<p>1 開会（田中生涯学習課長）</p> <p>2 委嘱書の交付 教育長から各委員へ交付</p> <p>3 教育長あいさつ お忙しい時間にお集まりいただきありがとうございます。昨年度から引き続き委員をお引き受けいただいた皆様方本当にありがとうございます。今年度から新たに委員になられた細川さん、牛山さん、どうかよろしくお願いたします。</p> <p>ちょっと学校教育の関係のお話をさせていただきたいと思います。平成18年だったと思いますが、「茅野市こども読書活動推進計画」ができました。その中で、学校における図書館教育をずっと進めてきたわけですが、昨年度の調べ学習コンクールで、多くの賞をいただくことができました。そしてまた今日、新一年生の朝読がどうかということで、すべて学校を回って歩いて、見てきました。職員から、どの学校もしっかりやっているという話を聞きました。</p> <p>そういう中で思うにつけて、茅野市は読書のまち、大人が読んで、だから子どもが読むという構造があったのではないかと思います。大人の読書活動というベースの上に、子どもの図書館教育、読書活動が成立してきたということではないかと私は今思います。そう考えたときに、大人の読書活動、確かにコロナ禍で読む人はものすごく読んだ、一方で家庭読書はどうだったのか、そんな点が多少心配になります。</p> <p>今年度の重点目標の中でも、大人向けの企画講座ということがありますが、そんな中で大人の読書活動をもう一度見つめる時ではないかというのが私の個人的意見です。</p> <p>さていつも図書館協議会のたびに本を紹介するわけですが、今日は、「信濃の古歌集」という本です。見たところは新しいですが、発行は昭和60年、今から36年前です。私がある学校にいた時に、出入りしている本屋さんから、買った本です。長野県の地域ごとの古歌を全部系列で集めている</p>		

	<p>本で、今もうほとんど手には入らないだろうなと思います。諏訪のところは諏訪郡としてあるわけですが、20ぐらいある中で一番この辺に関係した歌というと「夜寒なる穂屋のすすきの秋風に そよぎぞ鹿も妻を恋ふらむ」。秋からの寒い中で、鹿も奥さんを泣いて呼んでいるというような歌かと思います。この歌を読んだ時に、やっぱり昔の人って心豊かでやさしいなと思いました。一年間どうぞよろしくお願いします。</p>
図書館係長	<p>4 自己紹介 (委員及び職員が自席で自己紹介を行う。)</p>
生涯学習課長	<p>5 図書館協議会の役割について (資料1により、図書館協議会の役割について事務局から説明)</p> <p>委員の皆様には協議会の役割、こちらを踏まえまして、図書館の運営につきまして忌憚のないご意見をいただきますようお願いをいたします。</p> <p>6 正副委員長を選出について (選出について特に意見はなく、事務局の腹案により選出、承認される。委員長は矢崎智義委員、副委員長は岩崎和子委員)</p> <p>(正副委員長あいさつ)</p>
生涯学習課長	<p>4 会議事項 これより会議事項に入ります。進行は矢崎委員長にお願いします。</p>
委員長	<p>(1) 審議会の公開について まず初めに、「審議会の公開について」、説明をお願いします。</p>
図書館係長	<p>(資料2により、審議会等の公開について事務局から説明。)</p> <p>(特に異議はなく、本日の会議について公開とすることを決定)</p> <p>(事務局から、会議の出席状況と傍聴者について報告)</p>
委員長	<p>(2) 令和3年度図書館運営及び課題について 続いて、「令和3年度図書館運営及び課題について」ということで、五味館長お願いいたします。</p>
図書館長	<p>(資料3・4について、図書館長から説明を行う。)</p>
委員長	<p>図書館というものが大きな、やっぱり流行り廃りといいますが、ブームがありまして、最初の頃は本をどんどん貸そうということが主眼でした。それが、この何年かは地域の情報拠点というものが流行になっていて、さらに今後の動向とすると、人のきずなをつなげていくみたいな場所にしていこうというような動きも出てきています。それで、この館を作る時も、今までは、貸出冊数で判断しようとしていたのが入館者の数で判断しよう</p>

	<p>というような形でカウンターをつけて、座席も今まで少なかったものを下に、何十席増やしたような経緯があります。</p> <p>貸出の冊数よりも、滞留時間とか、来てもらう人の数を増やそうという動きになってきています。さらに、コロナとかいろんな状況でまた何か、市民のニーズが変わってくるということもありますので、それを館長とか係長がこうキャッチして、それにフィードバックしていくというような状況になっています。</p> <p>ですので、その時々全体の運営方針、それから今年何をやるかということをよく理解をしていただいて、議論していただければと思います。</p> <p>それでは今までのご説明の中で何かご質問、ご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>レファレンスということでいろんな方から、こういうことを調べて欲しい、あるいはこういうことをやろうと思ったらどうすればいいかという話が多分あると思いますが、どういった系統の質問が多いでしょうか。</p>
図書館係長	<p>こんな本はがないかというものからありますが、やはり郷土に関する質問が多いです。最近あったものでは上原城址のところに芭蕉の句の石碑があるのではないかというお問い合わせがありました。そうすると、句碑があるのかということ文献で調べます。</p> <p>やはり郷土のことについては、こちらも力を入れて資料収集をしていますのできちんと答えられるようにしていきたいと思っていますところでは。</p>
委員	<p>工業系とか、起業についてのことはあまり上がってこないですか。</p>
図書館長	<p>実際にあります。今、転職を考えているけれどもこういう関係の本はないのか、それに関わる本はないですか。ということで、具体的に本の名前とかそういうことは上がってこないけれども、中身としてこんなものはないのかという要望があるので、一緒にそれは考えて探してみましようという対応はあります。</p> <p>それで、その中で工業系に関わっては、理科大と提携があるので、もし専門的なことを探したいってことになったら紹介をしましようということもあります。</p>
委員長	<p>その部分に関して、一点目が電子化って意味でのデータベースです。データをどうやって集めるかっていうことで、やっぱり紙から集めていくというのはとても今そういう時代ではない。そう言ってしまうとちょっと語弊があるかもしれませんが、電子化されたデータは学生たちや子どもたちにとって当たり前になっているので、電子化されたデータ、ビッグデータをAIにかけて加工して、結果を出すというそういうことがこれからあるって当たり前になるということだと思います。</p> <p>それで、図書館もそういった意味ではそのデジタル化っていうこともすごく、強かに推し進めなきゃいけない立場ですけど、デジタル化には非常にお金がかかる。いろんなデジタル書籍だとか、デジタルのいわゆる論文なんかもですね、取ろうとするとすぐ一つの契約で何千万とかかかってきます。ですので、ぜひそういう事を認識していただいて、予算の方も付け</p>

	<p>ていただけるといいのではないかと思います。</p> <p>やっぱり、Googleみたいにオープンになっているものはいいですけど、深くいろんな形で突っ込んでいって、このマーケットにはどういうチャンスがあるとか、実は有料でないと見えないデータはいっぱいあります。ですので、それは契約しないともらえません。多分、起業したい人とか、転職した人とか、そういう人は有料でないともらえないような情報が欲しいと思います。</p> <p>あと、もう一つ先ほどあった読書と体験との間の行ったり来たりというところは、我々も大事だと思っていて、座学といいますか本から得られる情報と、実体験をどう結びつけるかというところで、企業とか、今人材が非常に流動化しているので、新しいことをしたいというような人たちに対してのレファレンス的なこと。具体的な細かい技術に対しては多分、大学はいろいろな資料があるので、個別の対応ができると思います。</p> <p>でも、そういう第一次的なことに対して、アドバイスをするようなこと。それが多分、我々実は企業に26年いましたが私の同世代がほとんど退職していて、結構皆さん暇をしている。そういう方たちをうまく、参加させるような仕組みができると、例えば、製造業系の人たちは実はパソコンがどんどんできます。それから、CADができたりしていろいろなことが蓄積されています。</p> <p>市民の方たちの、蓄積されたノウハウを上手く集めて、またそれを再度還元していくようなサイクルが、それは図書館の役割としてやるべきなのからちょっとわからないですけども、第一次的に入ってくるニーズに対して、そういうことをつなげていくことができるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>先ほど理科大の講座がすごく評判が良いというのがありました。先生のご都合で、夜間できないという、また休日にできないということがあったそうですが、ネット配信とかできないでしょうか。私が聞きたくても、平日の午後だとなかなかないということがあるかと思いますけど。</p>
図書館長	<p>著作権の問題があり、講座の中身はできないそうです。こんなことがありましたというニュース程度のもなら良いそうです。公開に制限があるデータを使っているということがあるそうです。</p>
委員長	<p>もったいない気がします。</p>
委員長	<p>(3) 令和3年度図書館運営及び課題について 次に進みます。続いて、「図書館のあり方検討について」ということで、お願いいたします。</p>
図書館長	<p>去年から、お話をさせていただいていますけれども、この施設も40年を超えているということで、茅野市では様々な公共施設についてこれからどうしていくかという「茅野市公共施設再編計画」というものができています。図書館についても今後のあり方について、協議会委員の皆さんと一緒に検討していただくということで、令和元年度から少しずつ話をしています。</p>

<p>図書館係長</p>	<p>その立地のことや建物については、今の日本全体の中でいろいろ見ていると、いろんなものと併設した施設になってきたり、運営が民間になったりなどいろいろなことがあります。すべての施設をさまざまな観点から検討していくということになっています。</p> <p>茅野市図書館としてもこれからどうしたらいいかということで、いろいろな機能を求められていることが前回の話からも出ています。それをもとに新しく委員になられた方もいらっしゃると思いますので、今までこんな話が出てきているということを経験しながら、図書館とはどのようなところで基本的にどんなことをやっている、あるいはどういう目的があるかということを経験事務局から説明をさせていただいて、理解をした上でまた皆さんに、今年ご検討いただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>(参考資料1～7をもとに図書館の役割・機能、茅野市図書館の沿革・現状等について事務局から説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ご質問ご意見等ありますか。</p> <p>かなり、大きな内容、厚い内容ですので、また、家に帰って読んでいただければと思います。私たちが図書館について学んだときに、一番衝撃的だったものは、図書館では戦前はこういったシステムがなかったということです。進駐軍としてアメリカが来た時に、なぜ日本が戦争を起こしたのかということ調べて、民衆がちゃんとした正確な知識を知らなかったためではないかと、そのためには何が必要かということで、図書館システム、それから教育法を整備したという話が載っていました。先ほどのアメリカ社会に役立つ図書館の十二か条を見るとわかりますけど、図書館は何をするという言い方をされていて、「本は」と言っていないです。目的は定められていても手段は決めてないです。最悪本でなくてもいいことになりますので、その辺もご理解をさせていただいて、図書館が設置された目的が何なのか、その目的を達成するために何をしたらいいのかというような観点で、これから議論をしていただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>8 その他 次へ進みます。</p> <p>・茅野市図書館の新型コロナウイルス感染拡大防止対応状況について（報告）</p> <p>(資料5について、図書館長から報告を行う。)</p>
<p>委員長</p>	<p>ご質問ご意見ありますか。</p> <p>(特に意見はなかった。)</p> <p>・茅野駅周辺公共空間当利活用委託業務（社会実験）について</p> <p>(本に係る事業ということで、都市計画課から情報提供を行う。)</p>

委員長	ご質問ご意見ありますか。
副委員長	私も数年前に、小屋のような、ブックスタンドをあちこちに用意して、いらなくなった本とか図書館の廃棄本とかを自由に置いて、もうそこから持ち帰りができるようなものができたらいいのではないかということ提案しました。組織で考えてくだされば、本当に実現できるのではないかと。このコロナの時なので、衛生面とか、いろいろなことはあると思いますけれども、ここには、とても素晴らしいボランティアの方たちとか読り一む in ちのとか、組織はしっかりあります。それを動かしていく火付け役が必要なので、この試みが火付け役になっていただけたらいいかと思い、応援します。
委員長	前回、ベルビアにまちライブラリーさんが本棚をお作りになったときに、図書館がそれを新聞で見て初めて知ったということがあったものですから、せっかく図書館も本を扱うことがあるものですから、そんなことは、あっちゃいけないことかなと思って、今日の機会を設けていただいたところですが、同じ本という媒体を通じていろいろやることを主にしているものですから、何か一緒に、お互いいい関係で、本に興味を持ってもらって、いろいろな利用方法なり活用ができるかと思っておりますので、ぜひまたよろしくお願いをしたいと思います。
委員	私も素晴らしいアイデアだというふうに思いますが、一番私関心あったのがブックツーリズムのところですね。もうちょっと広く考えてコンテンツツーリズムという概念があると思いますが、本というメディアだけではなくてやっぱり、地域が発信しているようなコンテンツみたいなものがありますので、その辺をうまく掘り起こして関連づけていくと、もっと広がりがあるのかなと思いました。ブックということでもいいのですが、それをちょっと広げるといいかという話です。
委員	また、読り一む in ちのもできれば協力させていただければと思いますけれども、9月でもう日程がタイトなので、また何かご相談させていただけることがあったら早めにお願いをしたいと思います。
委員	何だかとても楽しい。実際にこういうことがあると、行きたくなってきたいなと、そんなふうに思いました。また場所も市民館図書室と隣り合わせすぐ近くの通路ですので、それに伴って人の動きも活発になって、多分図書室の利用も、いろいろな人たちが本に興味を持ってくださる。特に、子どもとか、お年寄りには手厚いってところで、それ以外の若い方、ここには諏訪東京理科大もありますので、そういう方たちも呼び込んで、若い方たちが参加していただけるようになるとまた活性化するのかなあと考えて聞いていました。
委員	実はうちの子どもも年間500冊以上の本を読むくらい本が大好きで、家の、自分の部屋は本だらけにしたいと言って、今せっせと集めているのですが、それより前に父がやはり小屋1個分の本を残していて、自分が亡く

委員	<p>なったらそれを図書館に寄贈してほしいという遺言があったので、図書館の方に来ていただいて、見ていただきましたが、いらないと。その本を、もしかしてそこへ運んだらみんな引き取ってもらえるなら、なお嬉しいなとかちょっと思ってしまいました。</p> <p>本のまち茅野ということが、駅の玄関でできるということは、すごいことだなと思いました。市民の人に本のまちというのは、ある程度は浸透してきていると思いますけど、茅野市の場合には、縄文の方がちょっと強かったりとかします。本のまち茅野を大いに宣伝していただきたいと思います。</p>
委員	<p>やはり同じ趣味の方とか集って、趣味のことで話すことはなかなかなかったりします。でも、それを通じていろんなところが広がっていけば楽しいのかなというふうに思いました。</p>
委員長	<p>どうもありがとうございました。今後も連携を取りながら進めていければ、お互いに良い関係になるかと思しますので、ぜひよろしく願います。</p> <p>他に何か、伝達事項などはありますか。</p>
図書館長	<p>昨年度はこの会議を2回行いましたが、今年は3回を予定しています。それで、最初と最後だけではなくて途中の様子、あるいは変わってきた様子なども話ができるかなというふうに思いますので、皆様予定していただければと思います。</p>
委員長	<p>委員さんの中で、図書館の中をまだ見てない方がいらっしゃるかと思しますので、バックヤードとか、事務室とか、この中で図書館が動いているので、本館の中もいろいろ面白いところがありますので、ぜひ1回見ていただければと思います。</p> <p>今日はちょっと時間がないのでまた別の機会にと思いますが、こんなところで本がストックされたりしているとか、移動書庫が入っているとかということがわかるかと思しますので、ぜひ見ていただければと思います。すいません。これで終わりにしてお返しをします。</p>
生涯学習課長	<p>9 閉会</p> <p>予定の時間より大分オーバーしてしましまして申し訳ございません。皆様からの貴重なご意見、ありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして令和3年度第1回茅野市図書館協議会を閉会といたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。</p> <p style="text-align: right;">～午後8時50分 会議終了～</p>